

随 時 監 理

令和8年度

仕 様 書

(随時監理用)

委託業務名：R8 営繕 防災センター・消防学校 北・鯛浜 屋外訓練施設等改修監理業務

徳島県県土整備部営繕課

仕様書（随時監理用）

1 総則

- (1) 受託者（以下「乙」という。）は、設計図書（図面、工事仕様書等（閲覧補足説明書及び同書に対する質問回答書を含む、以下同じ。）をいう。以下同じ。）、工事請負契約書及び関係法令の内容について熟知の上、工事現場の状況に精通し、工事が完全に施工されるよう公正な立場に立って、かつ責任をもって以下の監理業務を行うものとする。
- (2) 委託者（以下「甲」という。）は、対象工事の監督員業務のうち、本仕様書で定める業務について乙に委託する。
- (3) 乙は、本業務を履行するにあたり業務担当技術者を定めるものとする。また、乙は業務担当技術者の中から監督員の業務を分担する者を定め甲に通知し、その承諾を得るものとする。
- (4) 乙は工事監理にあたり、設計、施工内容上疑義が生じた場合は、直に県の監督員（以下「県監督員」という。）に通知し、県監督員及び県が必要と認めて派遣する設計者と協議のうえ、適切に監理を行うものとする。
- (5) その他、この仕様書に定める業務の処理に関して疑義が生じた場合は、速やかに甲乙協議して定めるものとする。

2 業務概要

- (1) 委託業務名 R 8 営繕 防災センター・消防学校 北・鯛浜 屋外訓練施設等改修監理業務
- (2) 業務箇所 板野郡北島町鯛浜
- (3) 履行期間 契約書による。
- (4) 業務対象工事
本業務の対象となる工事（以下「対象工事」という。）は、下記のとおりとする。

工 事 名	工 期	設計金額(千円)	備 考
R 8 営繕 防災センター・消防学校 北・鯛浜 屋外訓練施設等改修工事（着手日指定型）	令和 9 年 8 月 31 日 まで	約 162,000 千円	
防災センターエレベーター改修工事	令和 9 年 8 月 31 日 まで	約 76,560 千円	

3 業務内容

(1) 設計監理業務

- ア 設計意図を工事請負業者に正確に伝えるために必要な打合せ及び図面等の作成
- イ 設計図書に基づいて工事受注者が作成する各種施工図、模型、材料、仕上げ見本及び機器製作図の検討及び承諾
- ウ 設計変更が生じた場合の、県監督員等との協議並びに設計変更図書の作成及び工事費の積算
なお、変更設計書については、営繕積算システムR I B C 2データで提出すること。

(2) 現場監理業務

- ア 設計図書に基づく工程の管理、立会い、工事施工状況の検査及び工事材料の試験若しくは検査
- イ 契約の履行に関し、県監督員が工事受注者に対して行う指示、承諾又は協議についての事前の検討
- ウ 工事に関連する関係諸機関との協議
- エ 関連する2以上の工事における工程等の調整
- オ 県監督員と工事受注者及び関係機関等との連絡
- カ 工事の内容に変更等の必要があると認められた場合、その理由及び事項の報告
- キ 対象工事の竣工検査及び部分払い検査に対する協力
- ク 契約図書に基づき、工事受注者から県監督員に提出される書類等の整理
- ケ 工事に関する官公署への提出書類等の作成
- コ 定例会及び県監督員との協議等の議事録の作成
- サ 現場定例会議への参加と会議の進行に係る業務（管理技術者：1回/月、主任担当技術者：毎回）

4 業務担当技術者の種別及び資格等

業務担当技術者は次のとおりとする。

(1) 管理技術者（1名以上）

管理技術者は、一級建築士の資格を有し、かつ対象工事全般についてその設計図書を掌握し、工事の施工監理について高度の技術・経験及び能力を有するものとする。

(2) 主任担当技術者（建築担当技術者、設備担当技術者 各1名以上 ただし、上記（1）以外の者とする）

主任担当技術者は、工事について、その設計意図を十分に理解し、設計内容に精通すると共に、工事の施工監理について相当の経験と能力を有するもので、大学卒業後5年以上又はそれと同等の経験を有するものとする。

5 業務の処理要領

(1) 甲は県監督員を定め乙に通知する。

(2) 甲は対象工事について、工事請負契約の締結又は変更を行った場合、若しくは工事受注者に対して、この業務に関する内容の指示を与えたときは、遅滞なく乙にその内容を通知するものとする。

なお、工事受注者に対する設計変更指示は、甲のみが行い、乙が行うことはできない。

(3) 乙は、業務の経緯及び履行状況が確認できるように、必要な図書及び記録を整理し、県監督員の指示により直ちに提出するものとする。

(4) 乙は、業務を処理した場合は、その都度、その概要を文書により県監督員に報告するものとする。

(5) 乙の担当職員と県監督員の上記以外の処理業務については、別表「工事監理業務一覧表」によるものとする。また、当該業務の処理方法は、別に定める「工事監理業務処理要領表」を参考にする。

なお、別表に定めのない事項については、甲乙協議のうえ実施するものとする。

(6) 乙は、甲に下記の書類を提出するものとする。

なお、様式については甲の指示によるものとする。

ア 着手時

- ・業務計画書

イ 各月末(翌月の10日までに提出)

- ・工事監理状況報告書

ウ 部分引渡し時

- ・委託業務部分引渡しに係る検査請求書
- ・工事進行写真、監理日誌、打合せ簿及び各種記録簿

エ 完了時

- ・委託業務完了検査請求書
- ・工事竣工及び完了写真、監理日誌、打合せ簿及び各種記録簿

オ 随時

- ・別表「工事監理業務一覧表」で定められた報告書類
- ・その他必要な書類

6 貸与品、その他

- (1) 対象工事の設計図書に定められた監督員事務所及びその備品のうち、県監督員の指定するものは、この業務に関し無償で使用することができる。これらの貸与品は、善良な管理者の注意をもって使用しなければならない。
- (2) この業務を行うに必要な業務資料は、貸与又は閲覧することができる。貸与されたものは業務完了時に、速やかに返却するものとする。
- (3) 年度末及び部分引渡し時には、工事の出来高に応じ、各年度の契約額の範囲内で部分引渡しに係る業務委託料の支払いをすることができる。
- (4) 工事の出来高については、令和8年度：約60%、令和9年度：約40%である。
- (5) 追加設計変更が生じた場合は、営繕課が定める監理委託料変更算定基準により委託料の変更を行う。ただし、設計に契約不適合がある場合は除く。(契約不適合がある場合は当初設計受託者が設計変更を行う)

別表

工事監理業務一覽表

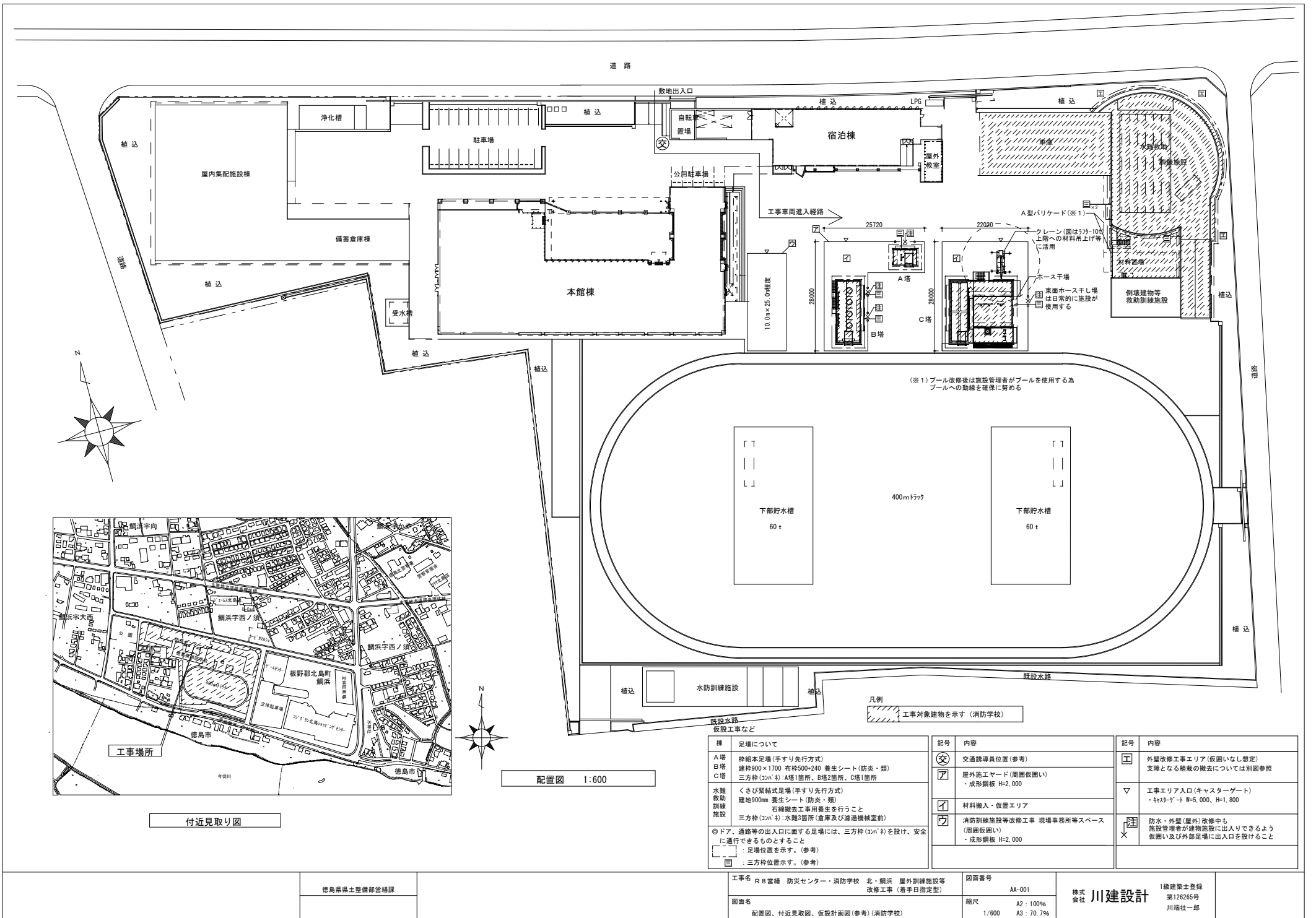
業務事項	業務担当技術者								県監督員					備考
	立会	指示	承諾	確認	検査	協議	調査	報告	立会	同意	確認	検査	処理	
1 書類関係														
工事工程表											○		○	工程段階支払率表による 県へ直接
現場代理人及び主任技術者等選任(変更)通知書											○		○	県へ直接
施工管理技術者				○				○			○			
技術者台帳											○		○	県へ直接
電気保安技術者				○				○			△			
工事用電力設備保安責任者				○				○			△			
技能資格者証明				○				○			△			
技能士チェックシート				○				○			△			
施工体系図				○			△	○			○		△	
施工体制台帳				○			△	○			○		△	
再下請負通知書				○			△	○			○		△	
工事实績情報サービス(CORINS)											○		○	県へ直接
官公署竣工検査	○			○				○	○		○		○	消防署、労基局、警察署、保健所等
工事部分払検査請求書				○				○			○		○	
工事施工報告書				○				○			○		○	
工事報告(進達質疑)書								○			○		○	
火災保険等				○				○			○		○	火災保険、建設工事
事故報告書				○			○	○			○		○	
工事中止・解除通知	○						○	○	△		○		○	
設計変更箇所一覽表				○			△	○			○			計画通知と発注図の整合確認及び報告書の提出を含む。
設計変更箇所確認書				○				○			○		○	
材料品検収願				○			△	○			○			出荷証明等
工事竣工検査請求書				○				○			○		○	
完成図・工事写真その他				○				○			○		○	保全に関する資料

業務事項	業務担当技術者								県監督員					備考
	立 会	指 示	承 諾	確 認	検 査	協 議	調 査	報 告	立 会	同 意	確 認	検 査	処 理	
2 準 備														
工 事 予 定 表				○				○		○				
実 施 工 程 表		△	○					○		○				
総 合 施 工 計 画 書		△	○					○		○				
施 工 見 本	△		○	○				○	△	○				
仕上材、(色)の決定	○		○	○				○	△	○				
施 工 図		△	○					○		△				
工種別施工計画書		△	○					○		○				
3 材 料														
配 合 計 画 書		△	○					○		○				
機 器 製 作 図 (機材承認図)		△	○					○		○				
同 等 品 使 用 願				○			○	○			○		○	
材 料 品 検 収 願		△	○		○			○		○				
材料・製品検査(試験) 工 場 検 査	△	△		○	△			○	△		△	△		
4 安 全 関 係														
支 障 物 件 確 認 書	○			○				○	△		○			支障物件確認書
県監督員の確認後の工事着手とする。														
仮 囲 い 等	○			○				○	△		△			安全再確認シート
墜落防止チェックシート				○				○			△			
足 場	○			○				○	△		○			足場チェックリスト
県監督員の確認後の足場使用開始とする。														
5 施 工														
敷 地 調 査	○			○				○	△		△			
一工程の施工の確認	○	△	○	○	○			○	△	○	△	△		1工程毎
工 法 提 案						○		○			○			

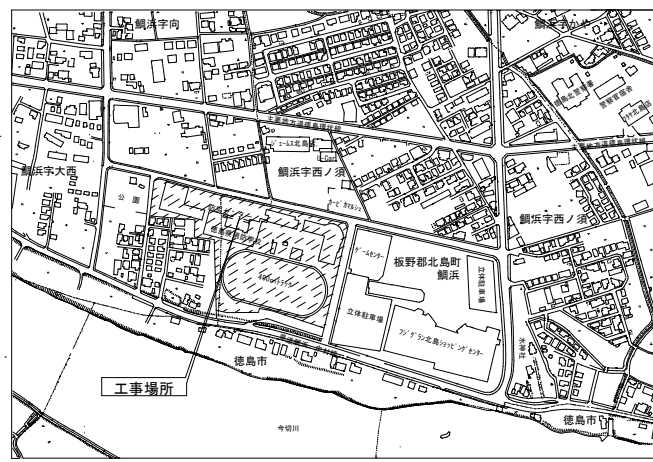
処理区分 業務事項	業務担当技術者							県監督員					備考	
	立会	指示	承諾	確認	検査	協議	調査	報告	立会	同意	確認	検査		処理
墨出検査	△				○			○	△		△			
発生材処理	△			○				○	△		△			
鉄筋組立	○		○		○			○	△		△			各部位毎
鉄筋超音波探傷試験	○		○		○			○	△	△	△			
コンクリート工事	○		○		○			○	△		△			
鉄骨超音波探傷試験	○		○		○			○	△	△	△			
鉄骨締付建方	○		○		○			○	△		△			
機器搬入取付			○		△			○		△	△			
各工事区分間の調整			○	○			○	○		○			○	
施設管理者と各工事との調整			○	○			○	○		○			○	
埋設物等の重要な施工	△		○	○	○			○	△	○	△			スリーブ配管、インサート取付等
設備機能試験 (検査・調整を含む)	○				○			○	△		△			
各種測定結果表				○				○			△			
公害関係	○		○					○		○			○	
部分払検査 中間検査	○				○			○	○			○	○	
竣工検査	○				○			○	○			○	○	
手直し検査	○			○	○			○	○		○	○	○	

凡例：△ 必要とする場合のみ

(注) 立会等 の用語の定義は、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修公共建築工事標準仕様書による対象工事により必要となる業務事項を適用する



(※1) プール改修後は施設管理者がプールを使用する為
プールへの動線を確保に努める



付近見取り図

配置図 1:600

棟	足場について	記号	内容	記号	内容
A塔	枠組本足場(手すり先行方式)	⊗	交通誘導員位置(参考)	工	外壁改修工事エリア(仮囲いなし想定) 支障となる構造物の撤去については別図参照
B塔	建枠900×1700 布枠500×240 養生シート(防災・類)	ア	屋外施工ヤード(周囲仮囲い) ・成形鋼板 H=2,000	▽	工事エリア入口(キャスターゲート) ・枠組ゲート H=5,000、H=1,800
C塔	三方枠(2m ²):A塔1箇所、B塔2箇所、C塔1箇所	イ	材料搬入・仮置エリア	火	防水・外壁(屋外)改修中も 施設管理者が建物施設に出入りできるよう 仮囲い及び外部足場に出入口を設けること
水廻り 救助 訓練 施設	くさび架橋式足場(手すり先行方式) 建地900mm 養生シート(防災・類) 石綿撤去工事用養生を行うこと	ウ	消防訓練施設等改修工事 現場事務所等スペース (周囲仮囲い) ・成形鋼板 H=2,000		
◎ドア	通路等の出入口に面する足場には、三方枠(2m ²)を設け、安全 に通行できるものとする				
□	足場位置を示す。(参考)				
■	三方枠位置を示す。(参考)				

工事名	R8 宮橋 防災センター・消防学校 北・鍋浜 屋外訓練施設等 改修工事(着手日指定型)	図面番号	AA-001	株式会社	川建設	1級建築士登録 第126265号 川端社一郎
図面名	配置図、付近見取り図、仮設計画図(参考)(消防学校)	縮尺	A2: 100% A3: 70.7%			

徳島県土整備部宮橋課

◎外部仕上表

棟名	部位	既存(現況・撤去)	改修後	
A塔	屋上	外気系遮断防水(6号㌻砂入)コクリトこて押え	高圧水洗浄の上、外気系遮断防水(X-2H)粗面仕上げ	
	外壁	コンクリート打放し 撥水材吹付け	高圧水洗浄の上、クラック、欠損部の補修外壁仕上げ改修なし	
	庇	上面	外気系遮断防水コクリトこて押え	高圧水洗浄の上、外気系遮断防水(X-2)
		見上げ面	コンクリート打放し 撥水材吹付け	クラック、欠損部の補修のみ外壁仕上げ改修なし
B塔	屋上	外気系遮断防水(6号㌻砂入)コクリトこて押え	高圧水洗浄の上、外気系遮断防水(X-2H)粗面仕上げ	
	外壁	コンクリート打放し 撥水材吹付け	高圧水洗浄の上、クラック、欠損部の補修外壁仕上げ改修なし	
	庇	上面	外気系遮断防水コクリトこて押え	高圧水洗浄の上、外気系遮断防水(X-2H)粗面仕上げ
		上面立上り部	硬質ゴム(撤去)	エチレンゴム(EFPM)シート t=20 ｽﾌﾟﾘﾝｸﾞ金具止め
		見上げ面	コンクリート打放し 7ﾌﾗｲﾝｸﾞ吹付け	高圧水洗浄の上、下地調整 外装薄塗り材E
	屋外階段	階段踏板 編鋼板	既存のまま	
C塔	屋上	2 F	外気系遮断防水(6号㌻砂入)コクリトこて押え 30mm厚 珪藻土L=50×50×5	高圧水洗浄の上、外気系遮断防水(X-2H)粗面仕上げ 既存のまま
		3 F	外気系遮断防水(6号㌻砂入)コクリトこて押え 床板 木根太共撤去	高圧水洗浄の上、外気系遮断防水(X-2H)粗面仕上げ 桧 床板t=21 木材保護塗料塗り 木根太
		6 F	外気系遮断防水(6号㌻砂入)コクリトこて押え	高圧水洗浄の上、外気系遮断防水(X-2H)粗面仕上げ
		R F	外気系遮断防水(6号㌻砂入)コクリトこて押え	高圧水洗浄の上、外気系遮断防水(X-2H)粗面仕上げ
	外壁	コンクリート打放し 撥水材吹付け	高圧水洗浄の上、クラック、欠損部の補修外壁仕上げ改修なし	
	庇	上面	外気系遮断防水コクリトこて押え	高圧水洗浄の上、2F北 外気系遮断防水(X-2)3F西 外気系遮断防水(X-2H)粗面仕上げ
		上面立上り部	硬質ゴム(撤去)	エチレンゴム(EFPM)シート t=20 ｽﾌﾟﾘﾝｸﾞ金具止め
		見上げ面	コンクリート打放し 撥水材吹付け	クラック、欠損部の補修のみ外壁仕上げ改修なし
	屋外階段	床 モルタルこて押え	既存のまま	
	ベランダ	上面	外気系遮断防水コクリトこて押え	高圧水洗浄の上、外気系遮断防水(X-2)
		見上げ面	コンクリート打放し 撥水材吹付け	クラック、欠損部の補修のみ外壁仕上げ改修なし
	水難救助訓練施設	屋根	上面	ｶﾞｰｽﾌﾟﾘﾝｸﾞ瓦葺t=0.45
見上げ面			外部用岩面吸音板	既存のまま
鉄部			溶融亜鉛ﾌｯｸの上、塗装	既存のまま
ﾌﾞｰﾑ槽(側面)		外気系遮断床(6号㌻砂入)押えコクリト	高圧水洗浄の上、下地調整、下地処理ﾌﾞｰﾑ用塗料塗りﾌﾞｰﾑ槽内一般工法	
ﾌﾞｰﾑ槽(底)		外気系遮断床押えコクリト	高圧水洗浄の上、下地調整、下地処理ﾌﾞｰﾑ用塗料塗りﾌﾞｰﾑ槽内防汚工法	
ﾌﾞｰﾑﾌﾞﾗｲﾄ		外気系遮断床(6号㌻砂入)押えコクリト	高圧水洗浄の上、下地調整、下地処理ﾌﾞｰﾑﾌﾞﾗｲﾄ用塗料塗り防汚工法	
スロープ		コクリト剛毛目仕上	既存のまま	
外壁		コンクリート打放し 複層仕上塗材	クラック、欠損部の補修水洗いの上、下地調整、防水形複層仕上塗材E	
屋外階段		床 防水モルタル ウレタン塗床	既存のまま	
車庫		建具(シャッター)改修工事のみ 内外共 仕上は既存のまま		

◎【A塔】内部仕上表

室名	部位	既存(現況・撤去)	改修後
空気ｶﾞｽﾞﾊﾞｸﾞ充填機室	床	ｺﾝｸﾘｰﾄこて押え	既存のまま
	壁・巾木	コンクリート打放し	クラック、欠損部の補修のみ(指定部のみ)
	天井	コンクリート打放し	クラック、欠損部の補修のみ
空気ｶﾞｽﾞﾊﾞｸﾞ庫	各部位	空気ｶﾞｽﾞﾊﾞｸﾞ充填機室に同じ	
少量危険物庫	各部位	空気ｶﾞｽﾞﾊﾞｸﾞ充填機室に同じ	

◎【B塔】内部仕上表

室名	部位	既存(現況・撤去)	改修後
乗車車庫等倉庫	床	ｺﾝｸﾘｰﾄ剛毛目地仕上	既存のまま
	壁・巾木	コンクリート打放し	高圧水洗浄の上、クラック、欠損部の補修のみ
	天井	コンクリート打放し	クラック、欠損部の補修のみ
	燃焼実験室	床	ｺﾝｸﾘｰﾄ剛毛目地仕上
燃焼実験室	壁	ｺﾝｸﾘｰﾄﾌﾟﾛｯｸt=150化粧積	既存のまま
	柱型・梁型等	コンクリート打放しの上 ｷﾞﾗｽﾌﾟﾘﾝｸﾞ系耐火被覆t=25	既存のまま
	天井	コンクリート打放しの上 ｷﾞﾗｽﾌﾟﾘﾝｸﾞ系耐火被覆t=25	既存のまま

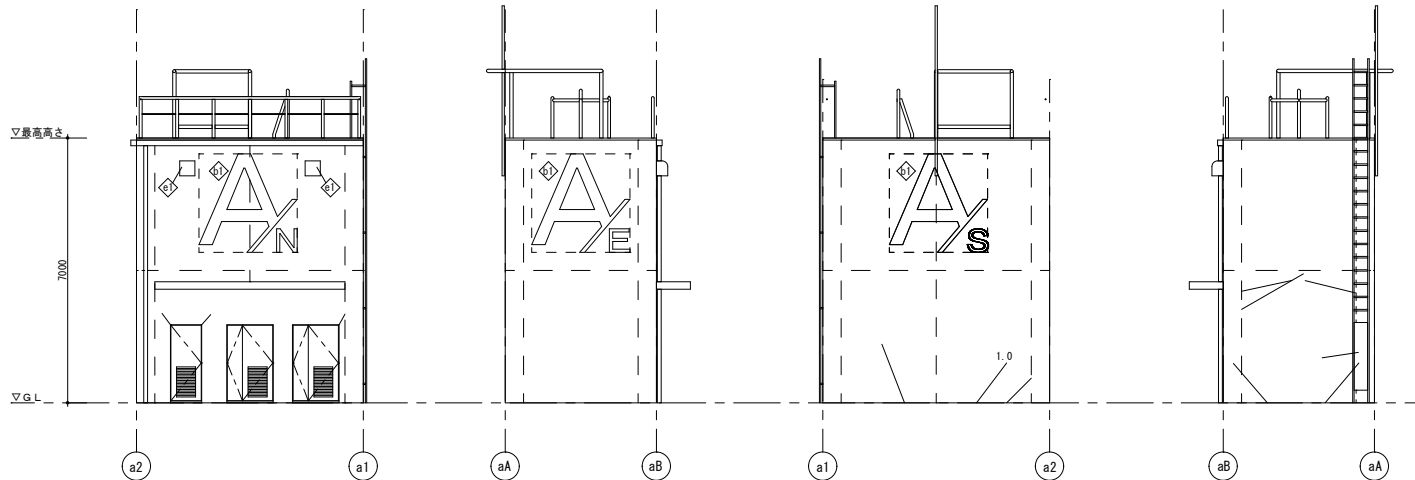
◎【水難救助訓練施設】内部仕上表

室名	部位	既存(現況・撤去)	改修後
濾過機械室	床	ｺﾝｸﾘｰﾄこて押え 防塵塗床	既存のまま
	壁・巾木	コンクリート打放し	クラック、欠損部の補修のみ
	天井	コンクリート打放し	クラック、欠損部の補修のみ
物置・物置奥	床	ｺﾝｸﾘｰﾄこて押え	一部地面露出部 土間コンクリート新設
倉庫(1)	壁・巾木	コンクリート打放し	クラック、欠損部の補修のみ
	天井	コンクリート打放し	クラック、欠損部の補修のみ
倉庫(2)	各部位	濾過機械室に同じ	
	各部位	濾過機械室に同じ	
観察室	床	ｺﾝｸﾘｰﾄこて押え 防塵塗床	既存のまま
	壁・巾木	壁：コンクリート打放し 巾木：ビニル巾木 H=60	壁：高圧水洗浄の上、クラック、欠損部の補修 巾木：既存のまま
	天井	アルミリフ板	既存のまま
女子便所	床	磁器タイル	既存のまま
男子便所	壁・巾木	陶磁器タイル	既存のまま
	天井	アルミリフ板	既存のまま
多目的便所	各部位	女子便所に同じ	
シャワー室	各部位	女子便所に同じ	

◎【C塔】内部仕上表

階	室名	部位	既存(現況・撤去)	改修後	
1	堅穴救助訓練室	床	ｺﾝｸﾘｰﾄこて押え	既存のまま	
		壁・巾木	コンクリート打放し	クラック、欠損部の補修のみ(指示部のみ)	
		天井	コンクリート打放し	クラック、欠損部の補修	
	機械室	各部位	堅穴救助訓練室に同じ	クラック、欠損部の補修	
	教室	各部位	堅穴救助訓練室に同じ		
	2	堅穴救助訓練室	床	ｺﾝｸﾘｰﾄこて押え	既存のまま
壁・巾木			コンクリート打放し	クラック、欠損部の補修のみ(指示部のみ)	
天井			コンクリート打放し	クラック、欠損部の補修のみ	
消火訓練室		各部位	堅穴救助訓練室に同じ		
教室		各部位	堅穴救助訓練室に同じ		
3		堅穴救助訓練室	床	ｺﾝｸﾘｰﾄこて押え	既存のまま
	壁・巾木		コンクリート打放し	クラック、欠損部の補修のみ(指示部のみ)	
	天井		コンクリート打放し	クラック、欠損部の補修のみ	
	消火訓練室	各部位	堅穴救助訓練室に同じ		
	教室	各部位	堅穴救助訓練室に同じ		
	4	住宅火災消火訓練室	床	ｺﾝｸﾘｰﾄこて押え	既存のまま
壁・巾木			コンクリート打放し	クラック、欠損部の補修のみ(指示部のみ)	
天井			コンクリート打放し	クラック、欠損部の補修のみ	
教室		各部位	住宅火災消火訓練室に同じ		
5		共同住宅消火訓練室	床	ｺﾝｸﾘｰﾄこて押え	既存のまま
			壁・巾木	コンクリート打放し	クラック、欠損部の補修のみ(指示部のみ)
	天井		コンクリート打放し	クラック、欠損部の補修のみ	
	訓練指定場所	各部位	堅穴救助訓練室に同じ		
	6	はじご自動車架橋訓練室	床	ｺﾝｸﾘｰﾄこて押え	既存のまま
			壁・巾木	コンクリート打放し	クラック、欠損部の補修のみ(指示部のみ)
天井			コンクリート打放し	クラック、欠損部の補修のみ	
7	はじご自動車架橋訓練室	各部位	6階に同じ		
共通	階段室	床	モルタルこて押え	既存のまま	
		壁・巾木	コンクリート打放し	クラック、欠損部の補修のみ(指示部のみ)	
		天井	コンクリート打放し	クラック、欠損部の補修のみ	
	煙道	床	モルタルこて押え	既存のまま	
		壁・巾木	耐火レンガt=60	既存のまま	
		柱型・梁型等	コンクリート打放しの上 ｷﾞﾗｽﾌﾟﾘﾝｸﾞ系耐火被覆t=25	既存のまま	
ORC壁及びRC床の指示箇所(位置・寸法は各階平面図に記載)を開閉塞を行うこと。					

徳島県土整備部宮崎課	工事名	R8宮崎 防災センター・消防学校 北・横浜 屋外訓練施設等改修工事(着手日指定型)	図面番号	AA-002	株式会社 川建設計	1級建築士登録 第126265号 川端社一郎
	図面名	仕上表	縮尺	NON		



消防訓練施設A塔 北側

消防訓練施設A塔 東側

消防訓練施設A塔 南側

消防訓練施設A塔 西側

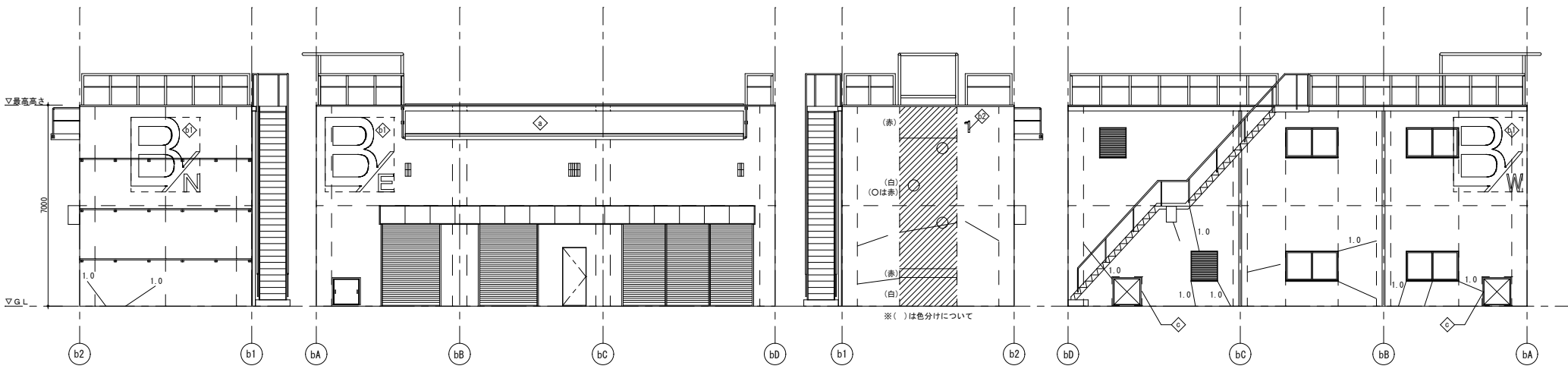
1階部分 外壁補修数量

改修工法	壁クラック (m)		欠損
	0.2mm以上1.0mm以下	1.0mm超 (既存U字補修跡含む)	
樹脂注入工法	U字樹脂材充填工法		鉄筋露出
モルタル面	コンクリート面	コンクリート面	充填工法 (モルタル樹脂モルタル充填工法)
A塔 北側	東側	西側	
	1.04		
南側	2.58	1.32	
西側	8.36		
B塔 北側	東側	西側	
		2.33	
南側	5.98		
西側	4.23	8.13	
計	22.19	11.78	

特記
 〓 壁クラックを示す(クラック幅0.2mm以上、1.0mm以下)
 (クラック幅1.0mm超のクラックの場合は図面にその旨を記載)

外壁改修仕様 (消防訓練施設A塔、B塔共通)

記号	現況・撤去	改修後
特記箇所以外	コンクリート打放し 換水材吹付け	高圧水洗浄、クラック、欠損部の補修のみ 外壁仕上げ改修なし
—	コンクリート打継目地 シーリング材撤去	シーリング打替え
◇	B塔 庇 立上り部 硬質ゴム撤去	エチレンゴム (EPDM) シート t=20 スチール金具止め
斜線	外壁塗装部 フッ素樹脂塗料によるペイント (色分け有り)	DP塗り A種 (ふっ素樹脂系) 塗替え ……上塗り材にて既存色分けを再現すること
◇	外壁 方位表示塗装 フッ素樹脂塗料によるペイント (2600×2600程度)	DP塗り A種 (ふっ素樹脂系) 塗替え
◇	外壁 番号記号表示塗装 フッ素樹脂塗料によるペイント (160×400程度)	DP塗り A種 (ふっ素樹脂系) 塗替え
◇	訓練用階段ダクト接続部: シール材撤去	シーリング打替え (ダクト継目シール材取替については別図参照)
◇	外壁付設備機器 (換気フード)	周囲シーリング打替え



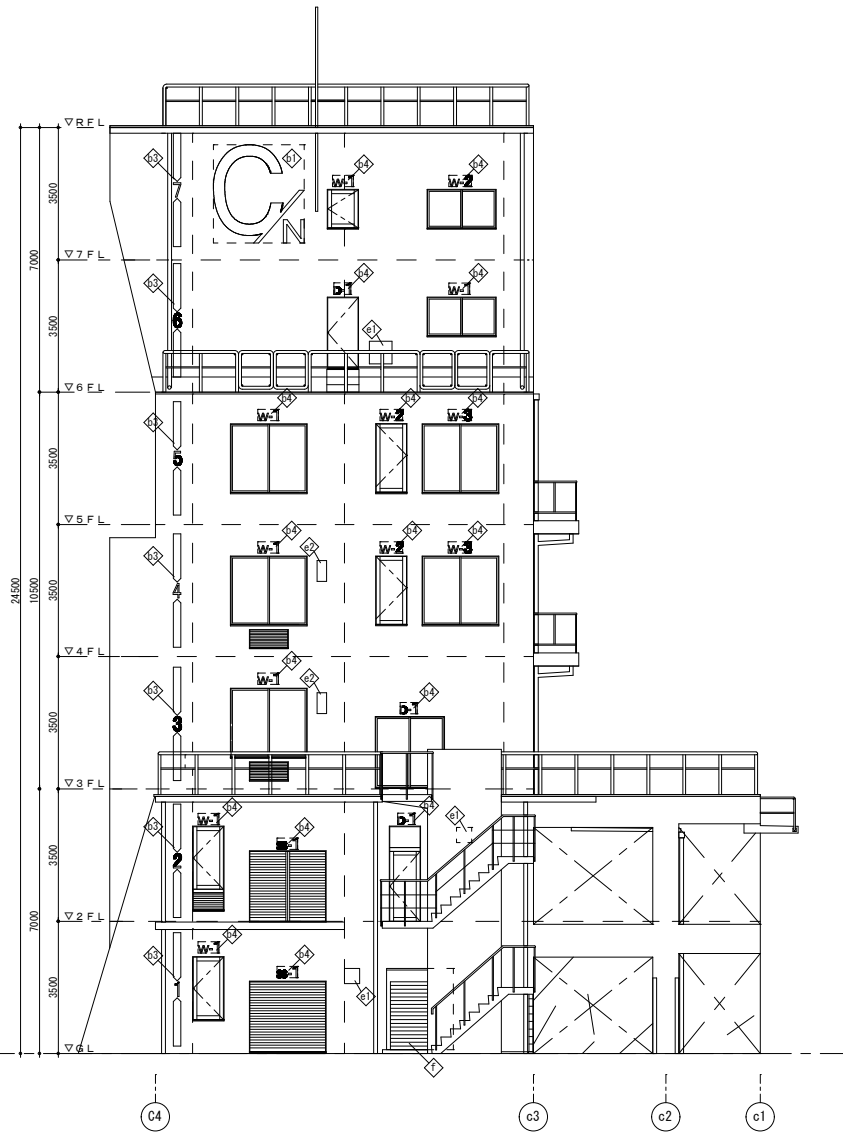
消防訓練施設B塔 北側

消防訓練施設B塔 東側

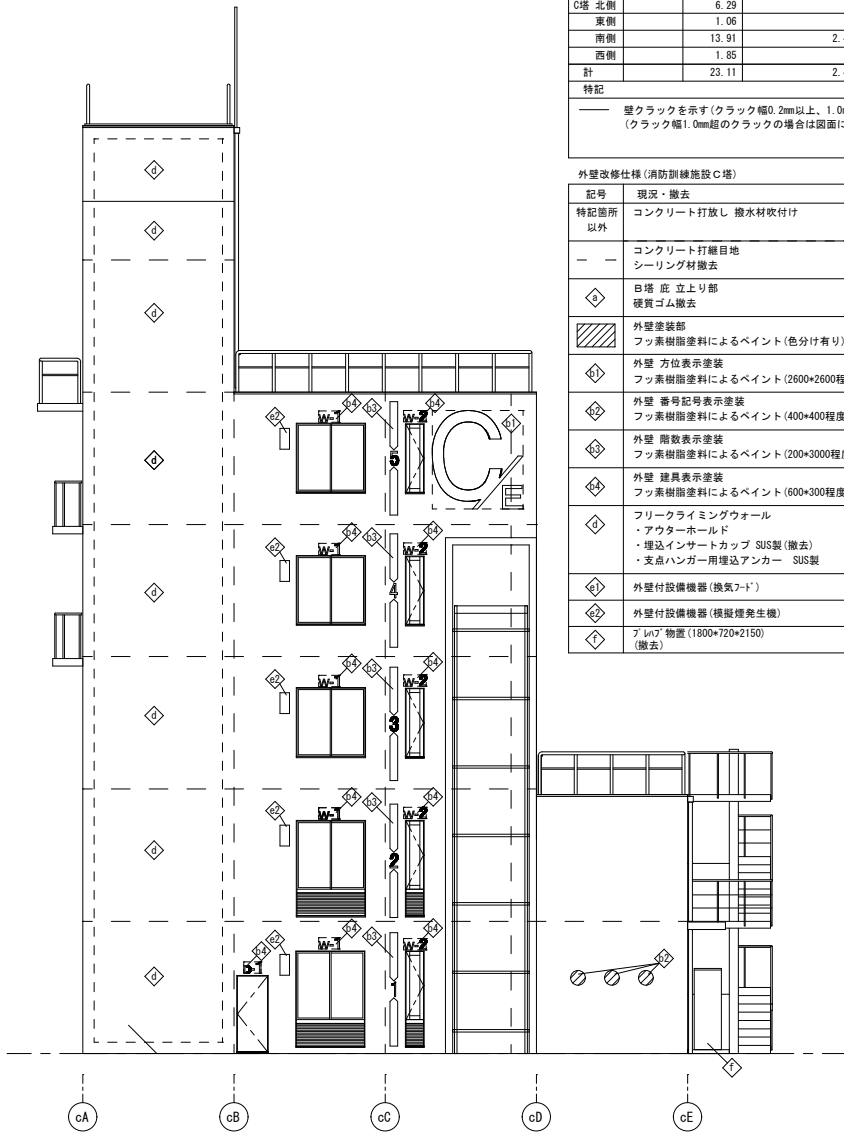
消防訓練施設B塔 南側

消防訓練施設B塔 西側

※ () は色分けについて



消防訓練施設C塔 北側



消防訓練施設C塔 東側

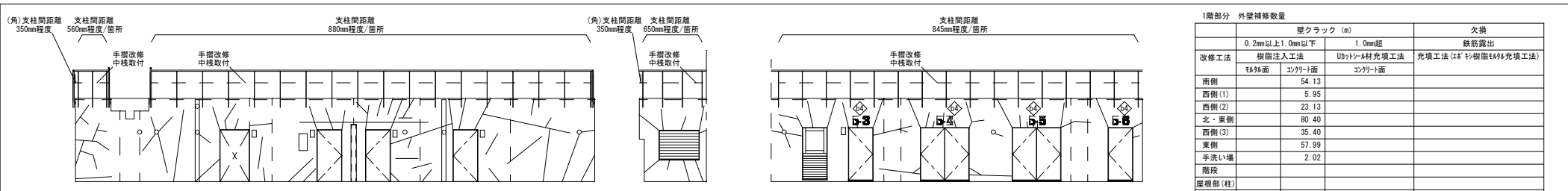
1階部分 外壁補修数量

改修工法	壁クラック (m)		欠損
	0.2mm以上1.0mm以下	1.0mm超 (既存劣化+補修跡含む)	
樹脂注入工法	樹脂注入工法	Uカーブ材充填工法	鉄筋露出
	モルタル面	コンクリート面	充填工法 (※ 樹脂系充填工法)
C塔 北側	6.29		
東側	1.06		
南側	13.91	2.42	
西側	1.85		
計	23.11	2.42	

特記
 壁クラックを示す(クラック幅0.2mm以上、1.0mm以下) 欠損部: 図示
 (クラック幅1.0mm超のクラックの場合は図面にその旨を記載)

外壁改修仕様 (消防訓練施設C塔)

記号	現況・撤去	改修後
	コンクリート打放し 撥水材吹付け	高圧水洗浄、クラック、欠損部の補修のみ 外壁仕上げ改修なし
	コンクリート打継目地 シーリング材撤去	シーリング打替え
△	B塔 底 立上り部 硬質ゴム撤去	エチレンゴム (EPDM) シート t=20 スチール金具止め
■	外壁 塗装部 フッ素樹脂塗料によるペイント (色分け有り)	D P 塗り A 種 (ふっ素樹脂系) 塗替え ……上塗り材にて既存色分けを再現すること
◇	外壁 方位表示塗装 フッ素樹脂塗料によるペイント (2600*2600程度)	D P 塗り A 種 (ふっ素樹脂系) 塗替え
◇	外壁 番号記号表示塗装 フッ素樹脂塗料によるペイント (400*400程度)	D P 塗り A 種 (ふっ素樹脂系) 塗替え
◇	外壁 階数表示塗装 フッ素樹脂塗料によるペイント (200*3000程度)	D P 塗り A 種 (ふっ素樹脂系) 塗替え
◇	外壁 種員表示塗装 フッ素樹脂塗料によるペイント (600*300程度)	D P 塗り A 種 (ふっ素樹脂系) 塗替え
◇	フリーライミングウォール ・アウターホールド ・埋込インサートカップ SUS製 (撤去) ・支点ハンガー用埋込アンカー SUS製	アウターホールド 全撤去 撤去跡 樹脂セメント充填 支点ハンガー用埋込アンカー 既存のまま
◇	外壁付設備機器 (換気ファン)	周囲シーリング打替え
◇	外壁付設備機器 (模擬煙発生機)	周囲シーリング打替え
◇	アライヴ 物置 (1800*720*2150) (撤去)	

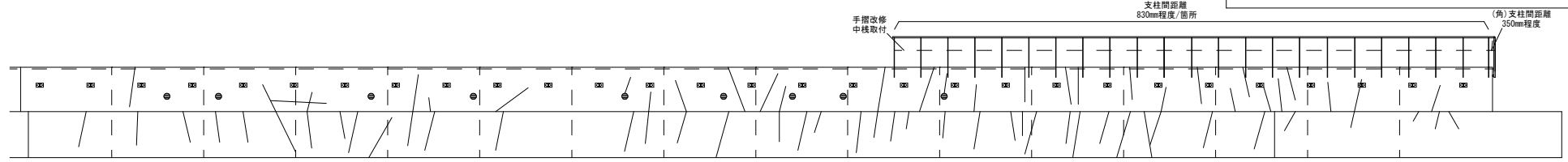


水難救助訓練施設 南側(曲面を平面化)

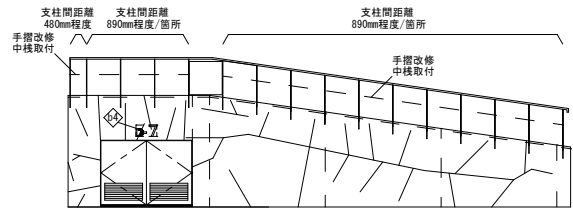
水難救助訓練施設 西側(1)

水難救助訓練施設 西側(2)

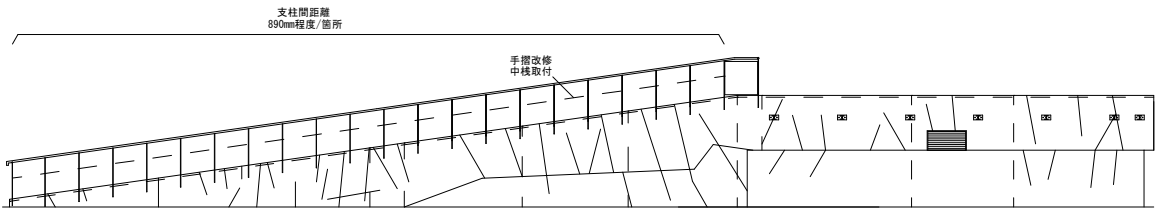
1階部分	外壁補修数量		欠損
	壁クラック (m)		
改修工法	0.2mm以上1.0mm以下	1.0mm超	鉄筋露出
	樹脂注入工法	ウレタン材充填工法	充填工法(※樹脂材充填工法)
南側	54.13		
西側(1)	5.95		
西側(2)	23.13		
北・東側	80.40		
西側(3)	35.40		
東側	57.99		
手洗い場	2.02		
階段			
屋根部(柱)			
ブール 東側			
北側			
西側		7.48	
南側			
計	259.02	7.48	
特記	壁クラックを示す(クラック幅0.2mm以上、1.0mm以下)		欠損部: 図示
	(クラック幅1.0mm超のクラックの場合は図面にその旨を記載)		



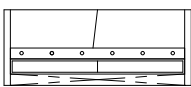
水難救助訓練施設 北・東側(曲面を平面化)



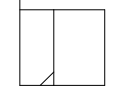
水難救助訓練施設 西側(3)



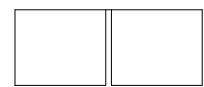
水難救助訓練施設 東側



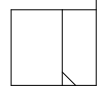
手洗い場 南側



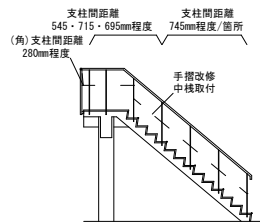
手洗い場 西側



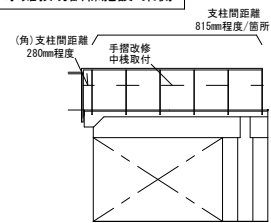
手洗い場 北側



手洗い場 東側



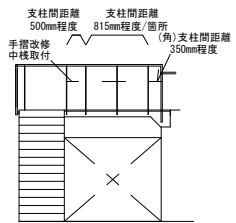
階段 南側



階段 西側

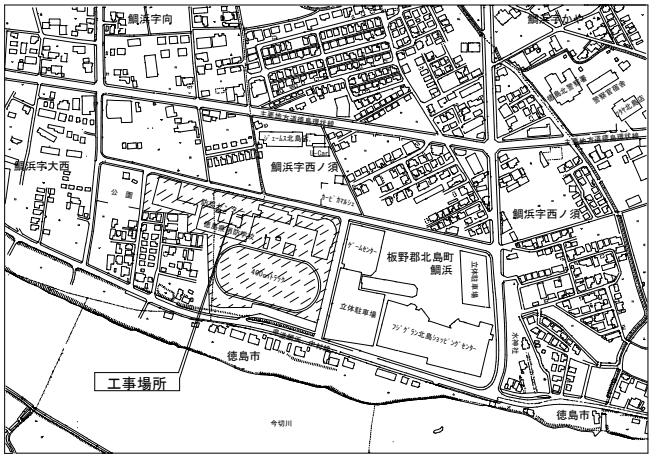
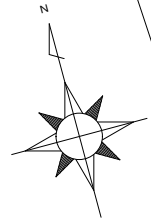
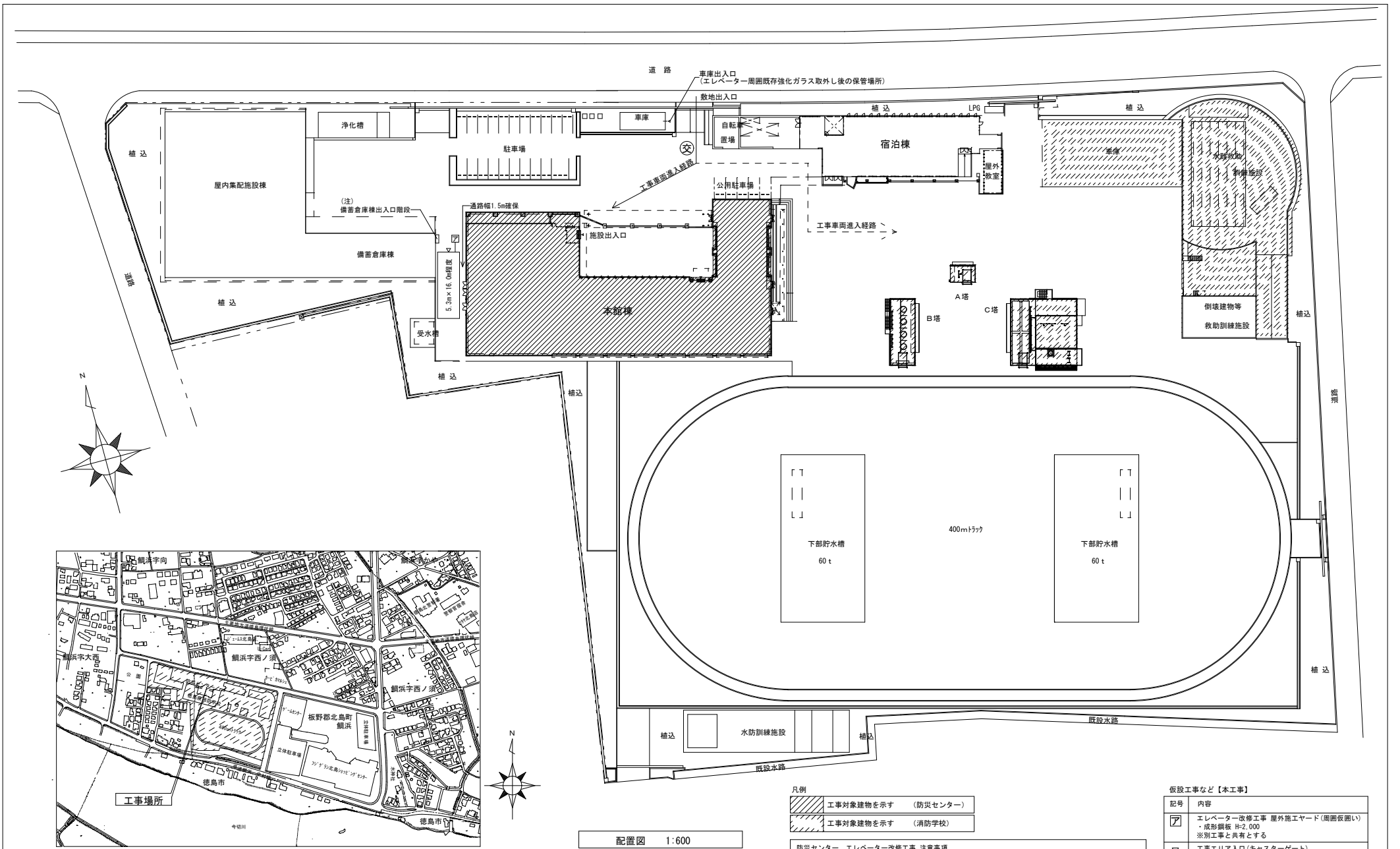


階段 北側

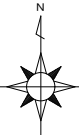


階段 東側

外壁改修仕様(水難救助訓練施設)		
記号	現況・撤去	改修後
特記箇所以外	コンクリート打放し 複層仕上塗材	クラック、欠損部の補修 水洗いの上、下地調整、防水形複層仕上塗材E
—	コンクリート打継目地 シーリング材撤去	シーリング打替え
◇	外壁 建具表示塗装 フッ素樹脂塗料によるペイント(600×300程度)	D P塗り A 種(ふっ素樹脂系) 塗替え



付近見取り図



配置図 1:600

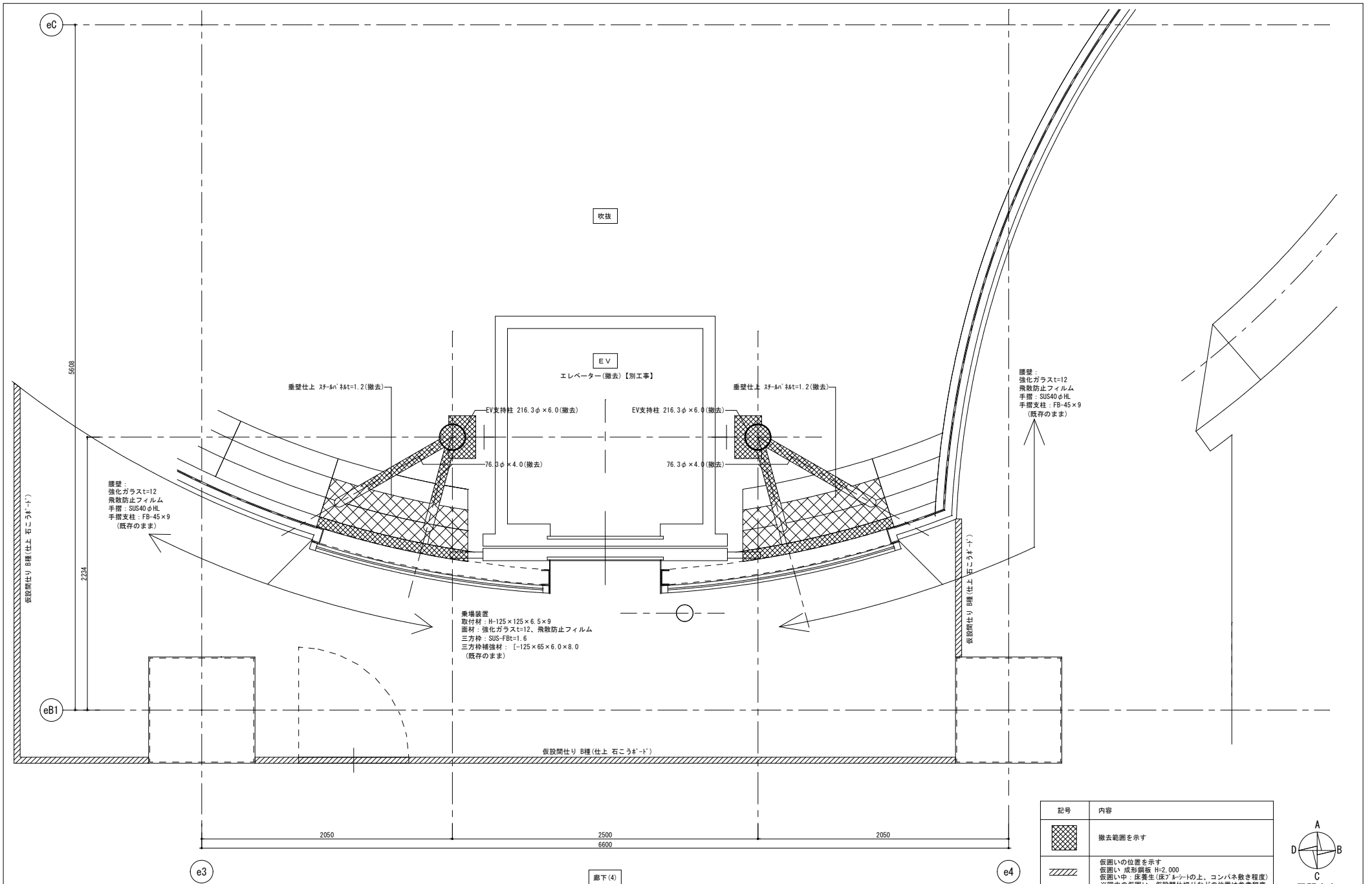
- 凡例
- 工事対象建築物を示す (防災センター)
 - 工事対象建築物を示す (消防学校)

防災センター エレベーター改修工事 注意事項
 ○本館(防災センター)の閉館日は月曜日、第一火曜日(ただし、月曜日が祝日の場合は、閉館)
 ○本館(防災センター)の開館時間は9:00~17:00まで
 ○エレベーター改修工事への搬入は閉館時間外もしくは閉館日に行うこと。

仮設工事など【本工事】	
記号	内容
	エレベーター改修工事 屋外施工ヤード(周囲仮囲い) ・成形鋼板 H=2,000 ※別工事と共有とする
	工事エリア入口(キャスターゲート) ・キャスターゲート W=5,000、H=1,800 ※別工事と共有とする
	交通誘導員位置(参考)

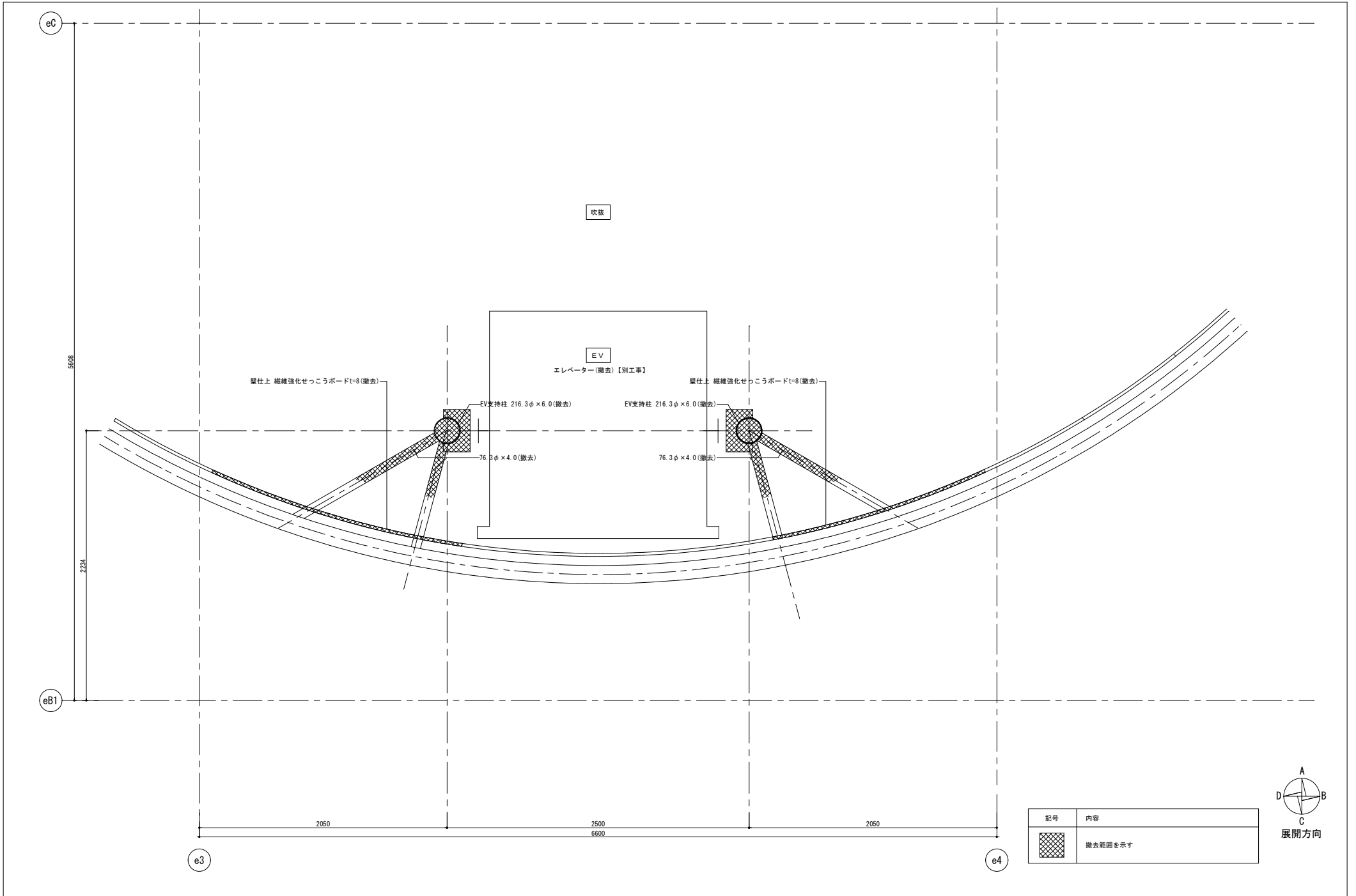
※別工事：防災センターエレベーター改修工事

徳島県土整備部宮崎課	工事名 R8宮崎 防災センター・消防学校 北・錦浜 屋外訓練施設等改修工事(着手日指定型)	図面番号 A-001	1級建築士登録 第126265号 川端社一郎
	図面名 付近見取り図、配置図、仮設計画図(参考)(防災センター)	縮尺 A2: 100% A3: 70.7%	株式会社 川建設 川端社一郎

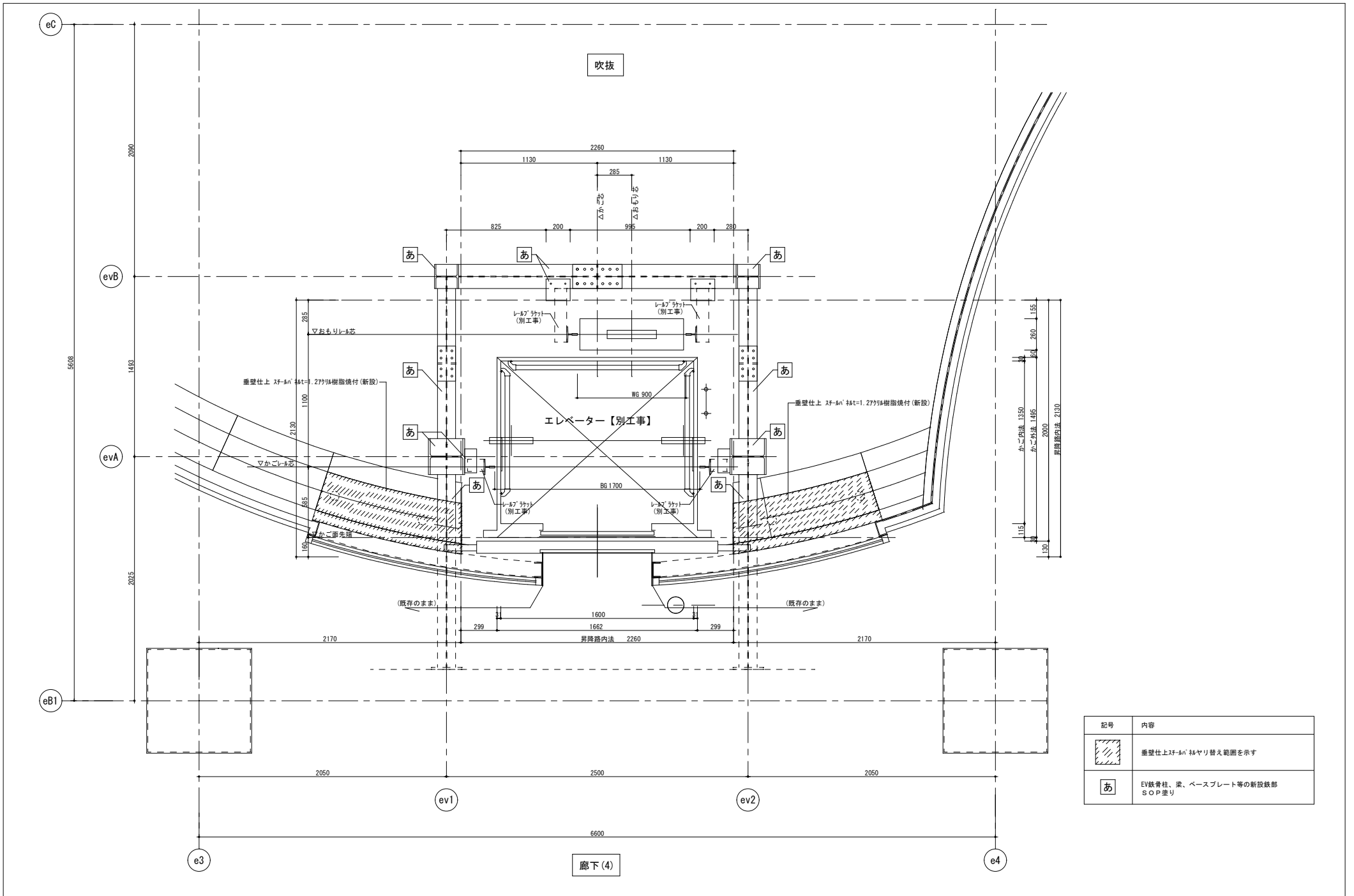


記号	内容
	撤去範囲を示す
	仮囲いの位置を示す 仮囲い 成形鋼板 H=2,000 仮囲い中：床養生(床プレートの上、コンパネ敷き程度) ※図中の仮囲い、仮設間仕切りなどの位置は参考程度

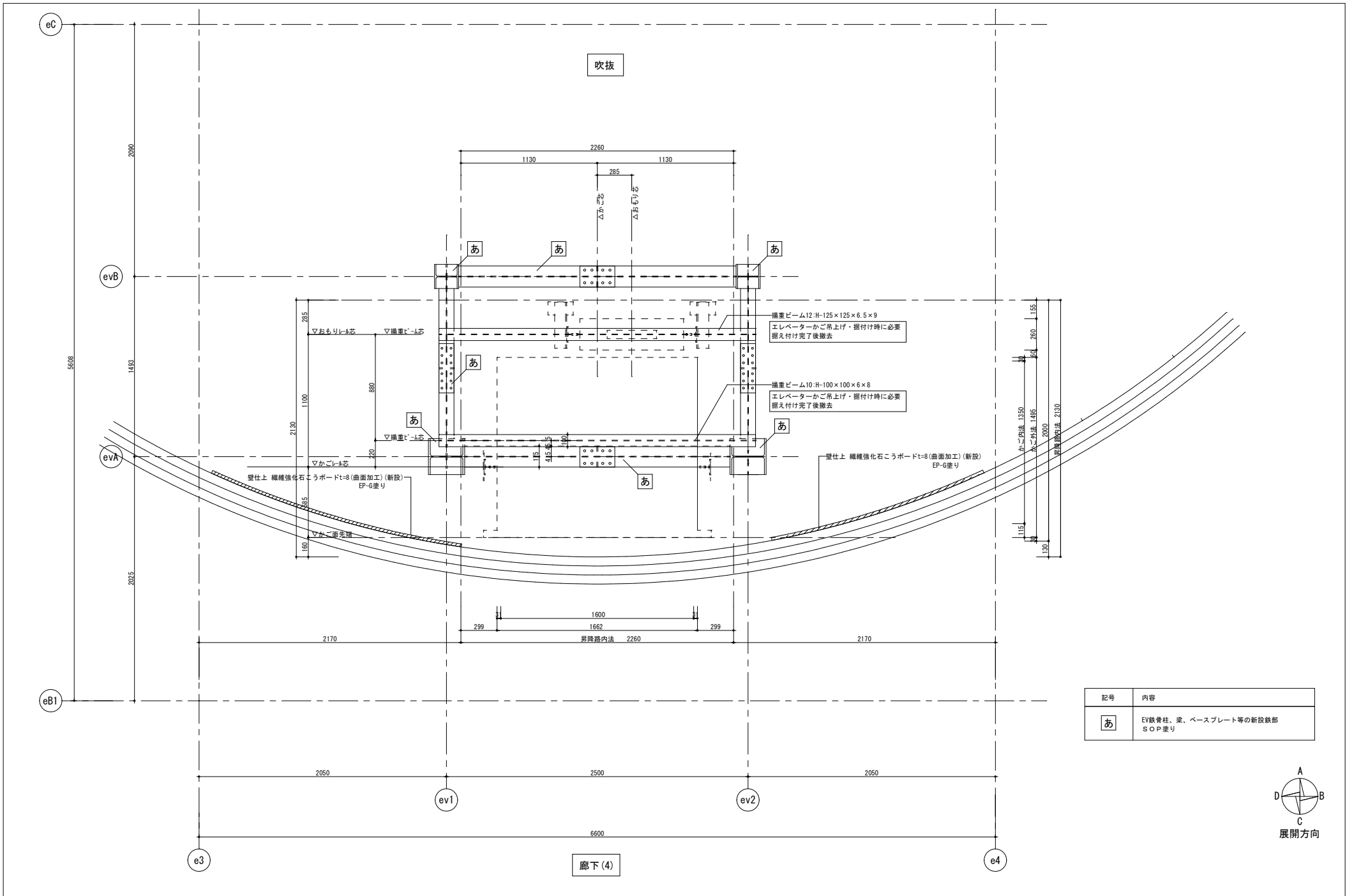




徳島県県土整備部宮崎課	工事名	R8 営繕 防災センター・消防学校 北・銅浜 屋外訓練施設等 改修工事（着手日指定型）	図面番号	A-007	株式会社 川建設計 1級建築士登録 第126265号 川崎社一郎
	図面名	平面詳細図 2階上部 現況・撤去	縮尺	A2 : 100% A3 : 70.7%	



記号	内容
	垂直仕上スチール骨格+2779H樹脂焼付を示す
あ	EV鉄骨柱、梁、ベースプレート等の新設鉄部 S O P 塗り



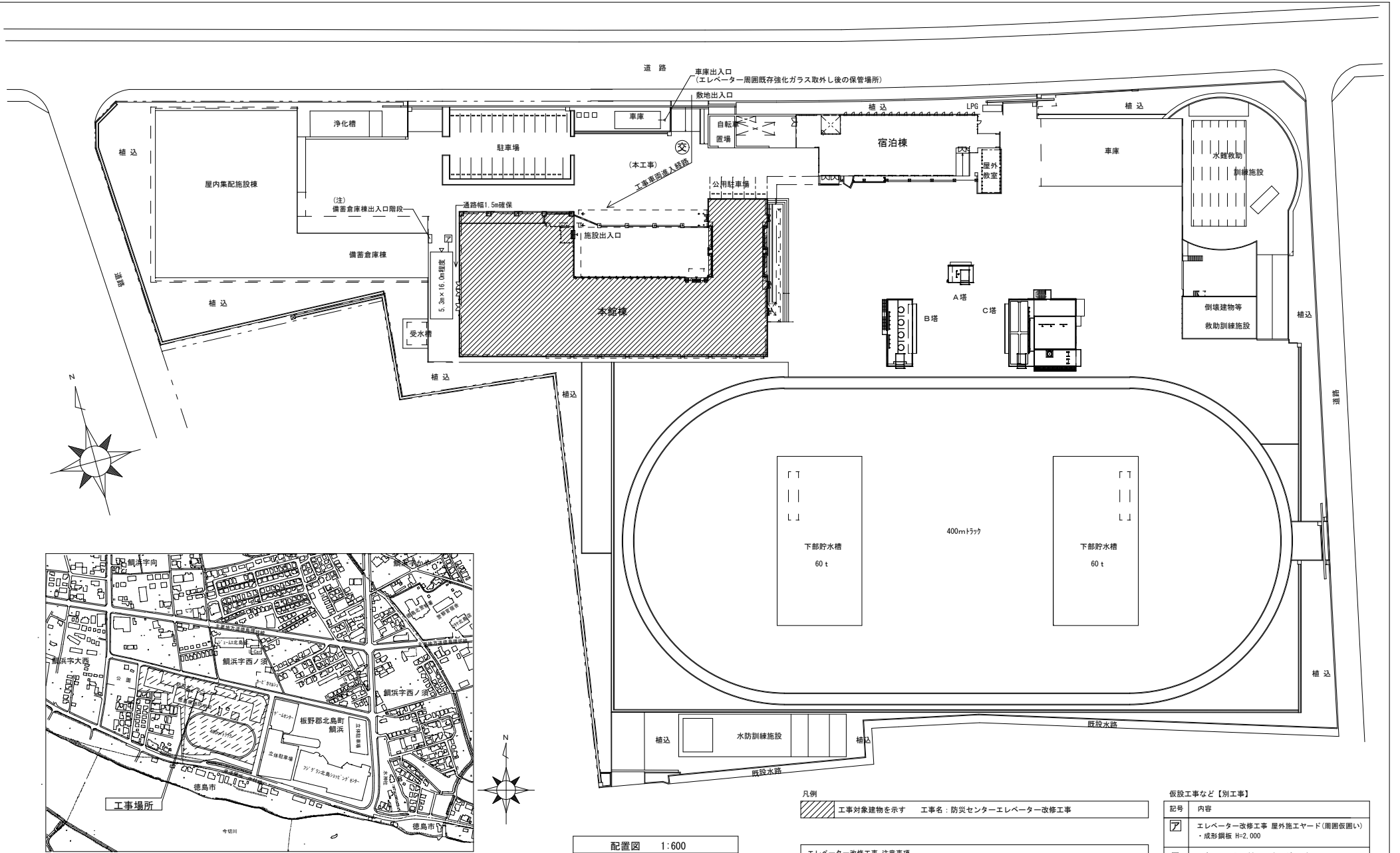
構造ビーム12-H-125×125×6.5×9
 エレベーターがご吊上げ・据付け時に必要
 据え付け完了後撤去

構造ビーム10-H-100×100×6×8
 エレベーターがご吊上げ・据付け時に必要
 据え付け完了後撤去

壁仕上 繊維強化石膏ボードt=8 (曲面加工) (新設)
 EP-G塗り

記号	内容
あ	EV鉄骨柱、梁、ベースプレート等の新設鉄部 SOP塗り





配置図 1:600

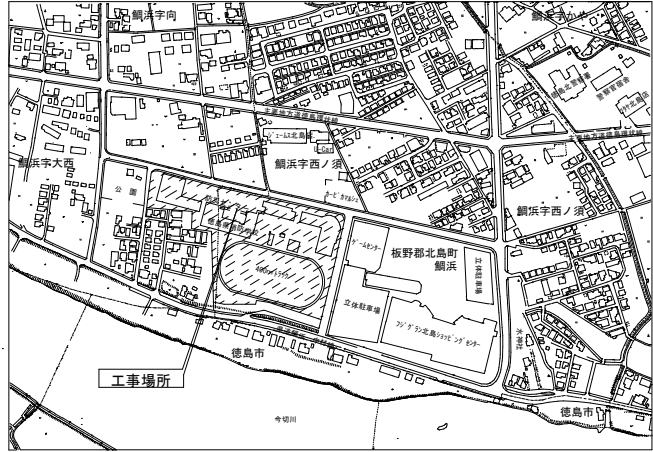
凡例
 工事対象建築物を示す 工事名：防災センターエレベーター改修工事

エレベーター改修工事 注意事項
 ○本館(防災センター)の閉館日は月曜日、第一火曜日(ただし、月曜日が祝日の場合は、閉館)
 ○本館(防災センター)の開館時間は9:00~17:00まで
 ○エレベーター改修工事への搬入は開館時間外もしくは閉館日に行うこと。

仮設工事など【別工事】	
記号	内容
	エレベーター改修工事 屋外施工ヤード(周囲仮囲い) ・成形鋼板 H=2,000
	工事エリア入口(キャスターゲート) ・キャスターゲート W=5,000、H=1,800
	交通誘導員位置(参考程度)

※別工事：R8 富浦 防災センター・消防学校 北・鯉浜 屋外訓練施設等改修工事(着手日指定型)

付近見取り図



徳島県土木整備部管轄課

工事名
防災センターエレベーター改修工事
 図面名
付近見取り図、配置図、仮設計画図(参考)

図面番号
B-001
 縮尺
A2: 100%
A3: 70.7%

株式会社
川建設計

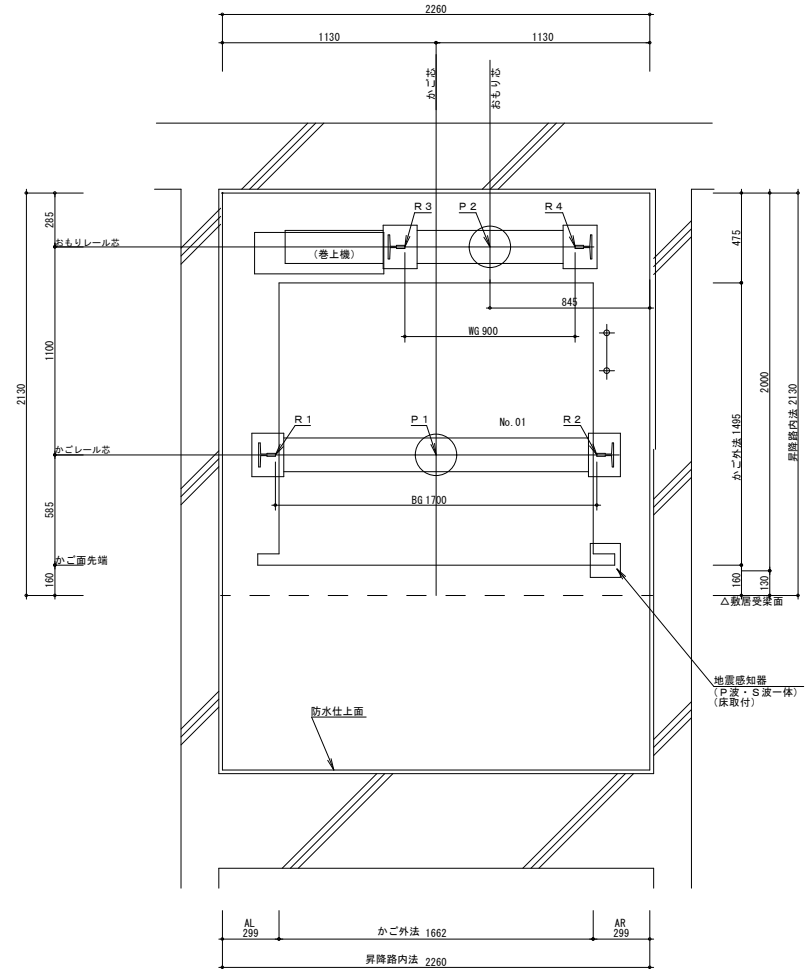
1級建築士登録
第126265号
川福社 一郎

仕様要項	
号機名	01号機
用途	乗用
制御方式	可変電圧可変周波数制御
操作方式	乗合全自動方式
積載荷重	900kg・最大定員13名
定格速度	45m/min
動力用電源	AC-3φ210V60Hz
照明用電源	AC-1φ100V60Hz
巻上機・電動機	4.6kW (ギアレス)
ツナ車	(径) 410mm
ロープ	(径) 10mm×4本・2:1ローピング
停止箇所	2箇所 (1-2階)
レール	かご側 ISO T127-1/B おもり側 ISO T127-1/B
かご内法	間口 1600mm×奥行 1350mm
出入口	幅 900mm×高さ 2100mm
戸閉方式	電動式2枚戸両引き (CO)
付加仕様	地震時管制運転 (P波・S波) (精密級) 停電時自動着床装置 火災時管制運転
その他の仕様	戸開走行保護装置 (UCMP) 耐震クラス: S14 光電式ドアセンサ 視覚障がい者対応仕様 車いす仕様 敷居間隙30mm インターホン6V単局 シースルーかご室 絶縁トランス 監視盤 (既設流用)

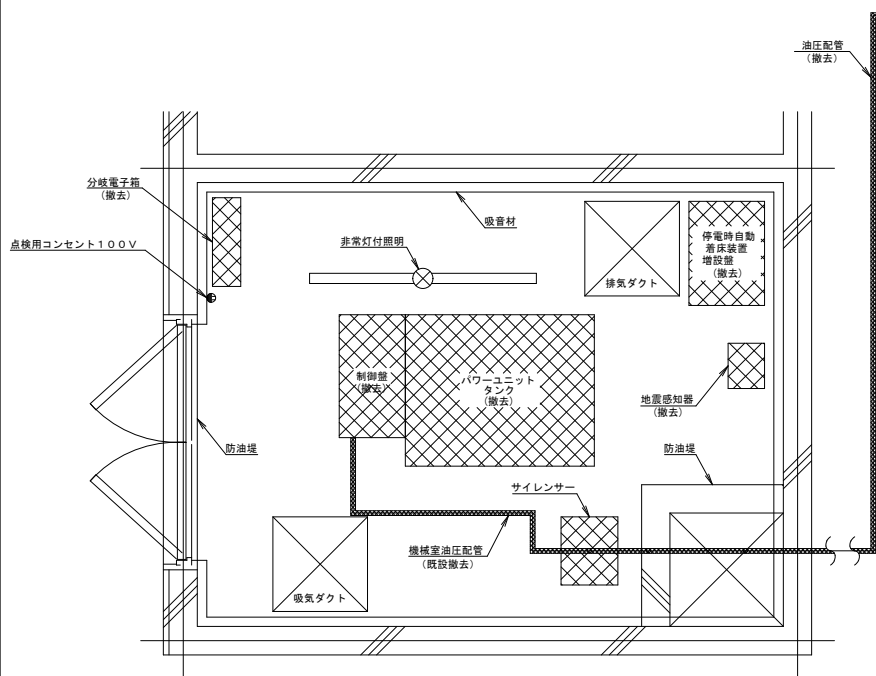
電源設備表【別工事】		
動力用電源	電源電圧	AC-3φ-210V-60Hz
	線サイズ	EM-CE8 ² -3C、E2.0 (E31)
	トランス容量	5kVA
	MCB容量	225A (必要容量40A) 【既設そのまま再利用】
照明用電源	電源電圧	AC-1φ-100V-60Hz
	線サイズ	2mm ²
	トランス容量	1kVA
	MCB容量	20A
接地線	D種	2.2mm ² 【既設そのまま再利用】
監視盤通信線	CPEV	0.9-20P (インターホン線含む) 【既設そのまま再利用】
監視盤及びインターホン取付位置: 1階受付 【既設そのまま再利用】		

レール下端部荷重 (長期荷重)			
R1 (kN)	R2 (kN)	R3 (kN)	R4 (kN)
25.5	24.1	42.5	21.6

ピット荷重 (短期荷重)	
P1 (kN)	P2 (kN)
84.0	65.1

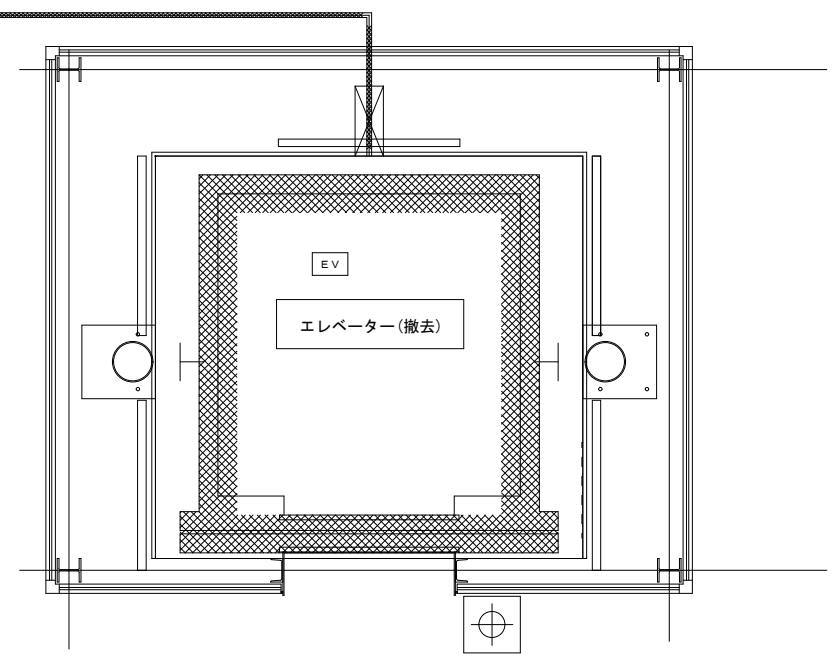


昇降路平面図 S=1/20
(ピット)



既設機械室平面図 S = 1 / 20

▨ : 撤去機器



昇降路平面図 S = 1 / 20
(1階)

【本工事】

記号	内容
▨	撤去範囲を示す

			令和8年度											令和9年度										
			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月		
消防訓練施設等改修工事(別添委任工事)	A塔改修工事	全体				契約					準備工事	足場組立	外壁調査・補修		足場撤去	検査等								
	◎施設管理者との協議事項 A塔屋内には施設管理者が継続的に使用する備品がある為、施工者は施設管理者と事前打合せの元、施工を止める時間帯を決める等の対応が必要となる。												屋上防水 (引引き)	現場検査 ※足場がないと屋上への昇降が難しい為										
	B塔改修工事	全体									準備工事	足場組立	外壁調査・補修		足場撤去	検査等								
	◎施設管理者との協議事項 A塔と同じ。												屋上防水 (引引き) (注意1)	準備	建具改修									
	C塔改修工事	外部									準備工事	足場組立	外壁調査・補修			サイン改修	足場撤去	2階屋上防水	検査等					
◎施設管理者との協議事項 C塔屋外にあるホースリフター(消火ホース干し)は施設管理者が継続的に使用する為、施工者は施設管理者と事前打合せの元、施工を止める時間帯を決める等の対応が必要となる。		内部										カドテープ 3階屋上防水 (引引き) (注意1)	R階屋上防水											
水難救助訓練施設	全体										準備工事	足場組立	内・外壁調査・補修		外壁塗装	サイン改修	足場撤去	検査等						
◎施設管理者との協議事項 プール防水については、R9年3月末までにプールの部分使用を開始させること。												プール防水 (引引き)	準備	手摺改修 換気設備改修										
車庫	全体										準備工事	(免注等)	建具改修 高所作業車	検査等										
エレベーター改修工事(別添委任工事)					調査・製作 契約	鉄骨製作				準備	仮設工事	足場	内装・鉄骨撤去	鉄骨工事	内装復旧	足場撤去	検査							
エレベーター改修工事(別添委任工事)					準備 契約				エレベーター製作期間 6.5ヶ月		準備		既存EV撤去		エレベーター設置	検査								
備考																								